イベント情報カレンダー

11月

●11/3（日）
特別ワークショップ（岩城少年自然の家）

●11/16（土）
木工ワークショップ（本荘こけし 菅原修）

●11/30（土）
イルミネーション点灯式（鮎の風）

12月

●12/1（日）
特別ワークショップ（岩城少年自然の家）

●12/21（土）
木工ワークショップ（鳥海ものつくりの会）

●12/31（火）～ 1/2（木）
年末年始休館日

1月

●1/5（日）
特別ワークショップ（岩城少年自然の家）

●1/18（土）
木工ワークショップ（木楽工房 和田良司）

●1/20（月）～ 2/6（木）
館内整備工事に伴う長期休館

※日程・プログラムは変更になる場合がございます。詳しくはお問合せください。

TOY MUSEUM GROUP

日本全国各地の豊かな自然とその土地に伝わる文化を「おもちゃ」や「遊び」を通して、受け継ぎ、育む空間である「おもちゃ美術館」が全国に広がっています。
鳥海山 木のおもちゃ美術館は全国で 4 館目としてオープンしました。今後も全国で設立が検討されています。

東京おもちゃ美術館
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-20 四谷ひろば内
http://goodtoy.org/ttm/

やんばる森のおもちゃ美術館
〒905-1411 沖縄県国頭村字辺土名 1094-1
http://www.kunigami-forest-park.org/

長門おもちゃ美術館
〒759-4106 山口県長門市仙崎4297-1
https://nagato-toymuseum.com/

「一口館長」募集のご案内

館内にお名前が残ります

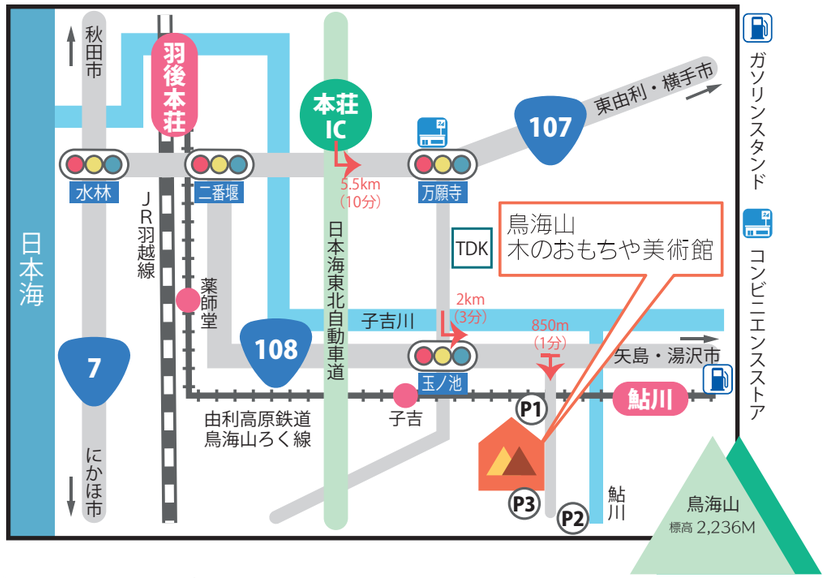
おもちゃと遊びはもちろん、由利本荘市の魅力を伝え、また多世代交流の架け橋となる活動を応援・支援し、「一口館長」となっていただける方を募集いたします。

一口館長のもとには、鳥海山をモチーフにした積み木が届き、館内にはお名前入りのフレームが飾られます。

そのほか金額に応じた返礼品がございます。

由利本荘市産 木のおもちゃのイメージ

詳しくはホームページで！



鳥海山木のおもちや美術館
〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1 旧鮎川小学校
URL http://chokaisan-wtm.jp
鳥海山木のおもちゃ美術館

発 行：特定非営利活動法人 由利本荘木育推進協会
〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1
Tel 0184-74-9070 Fax 0184-74-9079
www.yurihonjo-mokuiku.jp info@yurihonjo-mokuiku.jp
発行日：2019年10月25日

鳥海山
木のおもちや美術館
CHOKAISAN WOODEN TOY MUSEUM

ゆりほんじょう木育通信

2019年 秋号 Vol.09

TOPICS 鳥海山木のおもちゃ美術館

「秋の木育おもちゃまつり」開催！

10月6日、秋晴れの日曜日。昨年に続き、2回目の「秋の木育おもちゃまつり」が開催されました。前日までの雨で、残念ながら校庭は使用できませんでしたが、屋外には色鮮やかなテントが立ち並び、クラフトや飲食の出店や、さまざまなワークショップが行われました。メインテントでは岩城少年自然の家のてづくり工作、長門おもちゃ美術館（山口県）のカスタネットづくりなどが行われ、木の仕事びと木工ワークショップでもお馴染みの木楽工房 和田良司さん（由利本荘市）のブースも賑わいました。また、てづくりパンやお弁当、ドリンクの販売など、普段とは違う雰囲気の中、こどももおとなも思い思いの時間を過ごすのんびりとした一日となりました。そして、館内 木工室ではひっつきむし特別ワークショップを開催。こちらも多くのお客様で賑わいました。（詳しくは P.02 をご覧ください）

当日は多くのおもちゃ学芸員の皆様にご協力いただき、周囲の環境整備には地域の皆様にもご協力いただいております。まもなく厳しい冬を迎えますが、地域の皆様、おもちゃ学芸員、スタッフが一体となり、地元や遠方からいらっしゃるお客様を暖かくお迎えできるよう、日々努めていきます。

メインテントでは手作りワークショップが大人気

小さいお家づくりに挑戦

FEATURE

大人気！「ひっつきむし」特別ワークショップ

もりのあそびばで大人気の「ひっつきむし」。その作者である夢工房ももたろう（埼玉県羽生市）の藤原浩司さんが、東北・秋田新幹線と羽越本線と由利高原鉄道を乗り継いで、遠路はるばるご来館くださいました。今回はひっつきむしのキーホルダーとストラップづくりのワークショップを開催。様々な色を組み合わせて、自分だけのオリジナルをつくれるとあって、開館直後から大人気。廊下には順番待ちの長い行列ができ、午前と午後あわせて述べ 240 人がひっつきむしづくりに挑戦しました。

藤原さんにとっても初めての鳥海山木のおもちゃ美術館来館で、これだけの反響があることに驚いていらっしゃいました。きっとまた、たくさんのひっつきむしを連れて来てくれますよ！

PickUp!
もりのあそびばの「ひっつきむし」

鳥海山木のおもちゃ美術館の「もりのあそびば」に入ると、そこはうっそうとしたエンジュの林。その木々の一本一本をよく見ると小さな穴が。そこが「ひっつきむし」の住処です。この森には約 200 匹が暮らしています。遊びに来たこどもたちは「ひっつきむし」に夢中。製作者の藤原さんからも「まさしく、ひっつきむしの聖地」と言っていただきました。

ご来館の際はぜひこの森のむしたちを探してみてください。

COLUMN

鳥海山・飛島ジオパークって何だろう

鳥海山は標高 2,236m、東北で 2 番目の高さを誇り、また山頂から日本海の海抜 0m までの距離が約 16km と近い事が特徴です。約 60 万年前に活動を始め、たくさんの溶岩の層が積み重なってできています。大陸からの季節風は、日本海対馬海流の水蒸気をたくさん吸い上げ、鳥海山に吹き付け、大量の雪を降らせます。雨水や雪は溶岩の層に染み込み、山麓や海岸等に湧き水となって人々の暮らしに恵みを与えています。

ジオパークとは、ジオ（地球）に関わるさまざまな自然遺産、たとえば、地層・岩石・地形・火山・断層などを含む自然豊かな「公園」のこと。山形県･秋田県にまたがる活火山「鳥海山」と、鳥海山の西方約 30km にある「不思議の島 飛島」を含む「鳥海山・飛島ジオパーク」は 2016 年に日本ジオパークに認定されました。「日本海と大地がつくる水と命の循環」をテーマに、鳥海山の溶岩と岩なだれによって作り出された景観や日本海と鳥海山が生み出す水の恵みを感じられるほか、飛島の大地の歴史と文化を楽しめる「海」と「山」、「島」のジオパークです。

そんな地域のシンボル「鳥海山」の名前を冠する鳥海山木のおもちゃ美術館は、噴火活動によってできた広い裾野の高原と、鳥海山を源流とする子吉川が作った肥沃な平地の際（きわ）に位置する、ジオパークの中にあるおもちゃ美術館。山麓の豊富な森林資源を活かし、木育の普及を図るには最適な環境です。

INTERVIEW

この街の未来をつくる

松本 学（おもちゃコンサルタント、株式会社 鳥海トライブ代表）

2019 年 9 月、由利本荘市初となる 3 人のおもちゃコンサルタントが誕生しました。おもちゃコンサルタントとは 30 年以上の歴史を持つ、日本で唯一の総合的なおもちゃの認定資格。その中のお一人で、トイショップ tocca を運営する株式会社鳥海トライブ代表の松本学さんにお話を伺いました。

Q. おもちゃコンサルタントを取得しようとしたきっかけは？

松本学さん（以下、松本） 2014 年に由利本荘市の未来づくりを目的に起業し、子どもの教育環境の改革に重点を置き活動する中で「木育」という学びに出会い、「木育インストラクター」という資格を取得しました。その後、さらに学びを深めたい、もっと木のおもちゃや遊びそのものの素晴らしさを伝えていきたい、という想いから、自分自身のステップアップの為「おもちゃコンサルタント」を受講しました。

Q. この資格を今後どのように活かしていきたいですか？

松本 「おもちゃコンサルタント」という資格は、おもちゃが子ども達に与える学びだけでなく、人と人とを繋ぎ、心を通わせるコミュニケーションツールとしての役割や、おもちゃの与え方、遊び方の工夫の仕方など沢山の事を学ばせて頂きました。

それは今、目の前にあるおもちゃ、又は本来おもちゃではないものなどを遊びに取り入れ、場所がどこでも、誰でもすぐに実践していける考え方です。

それをできるだけ沢山の方に伝え、共に学び、未来を担う子ども達の健やかな成長の為、地域全体で考えていけるような社会を目指し、活動を続けていきたいと思います。

松本 学
おもちゃコンサルタント
株式会社 鳥海トライブ 代表
1979 年生まれ
秋田県 由利本荘市出身・在住